

2015年文・法第2問

2 以下の問に答えよ。

- (1) 正12角形の辺と対角線の数合わせると全部で 本ある。
- (2) 正12角形の辺と対角線を組み合わせてできる四角形は、全部で 個である。
- (3) 円Cに内接する正12角形がある。その正12角形の隣りあう2つの頂点をA, Bとする。頂点Aを通る直線 l が円Cに接しているとき、直線 l と直線ABとがなす角は、 $^{\circ}$ である。ただし、 $0^{\circ} \leq$ $^{\circ} \leq 90^{\circ}$ とする。